

【葵高校でのロジカルシンキング講座を終えて】

Problem Tree がロジカルシンキングの肝であり、非常に重要であることは理解していましたが、初めての経験である高校1年生にとっては、正直厳しいかなと思っていました。しかし、葵高校の生徒の皆さんはグループのクラスメイトと協働しながら、独自の視点を持って意欲的に取り組んでいました。特に「会津若松市の家庭ゴミが全国平均の約1.4倍である」という課題の直接的な原因として、「お祭りが多く、そこでゴミが多く出るから。」や「無駄なゴミを出す観光客がいるから。」と会津若松市の風土と重ねて挙げていたことに非常に感銘を受けました。さらに、こういった本質的な探求学習講座の意義を改めて実感することができた1日でした。論理的思考力を持った状態で社会を見渡すことで、さらに課題発見及び解決へと近づき、結果的により良い社会を作り出すことができるのだなと感じました。この講座を中心とした取り組みを会津、福島全体、その先へと広げていけるように自分も何かできることを探したいと思います。最後になりますが、授業を受けて考える高校生がとても輝いて見えました。それにより相対的に、コロナを理由にあまり行動できていない自分の情けなさを実感しました。今日は、東大生ということで食いついてくれる高校生もいましたが、肩書きに恥じないような能力をどんどん身につけていきたいと思います。実社会に根ざした教育に関心のある自分にとって本当に良い機会でした。ありがとうございました！

東京大学文科三類2年 西澤亮輔

今回の講座は、「SDGsに関連した会津若松市の地域課題を論理的に分析して考える」ことがテーマでした。私は講座内での自分の役割を、答えに繋がるなにかに気づかせることとし、生徒との対話を通じた丁寧なサポートを心掛けました。講座を通して強く感じたことは、高校生の思考の柔軟さと斬新さ、そして従順さです。大人にある無難さが彼らにはなく、ロジックツリーを構築する際には常にオリジナルな視点を提示してくれました。また、彼らの従順さは、答えらしきものが示されると素直にそれを受け入れる姿勢から感じとったもので、これは今後の教育の在り方を考える良いきっかけとなりました。答えの導かれる道筋や理由等、物事の根本を考える時間の増加と習慣化が、これからの教育に求められることのひとつであると感じています。今回の講座が、参加してくれた生徒の豊かな思考力を築く一助になれば幸いです。最後に、この度本講座開催の機会を提供して下さった葵高校の先生方に、この場を借りて感謝を申し上げます。

早稲田大学国際教養学部3年 菅野なな実